

# 高齢者の見守りで協定

## 移動スーパー活用 川俣町といちい



協定書を交わした大江副町長  
(右から2人目)と伊藤社長  
(同3人目)

川俣町とスーパーを展開するいちい(福島市)は22日、地域の見守りに関する協定を締結した。1人暮らしの高齢者の孤立死を防止し、高齢者らが安心して自立した生活を送れるよう支援を行う。

同社は昨年3月から、町内で生鮮食品などを軽トラックに積んで訪問販売する移動スーパー「とくし丸」

のサービスを展開している。協定締結により、訪問

先で異変があった場合には町や警察など関係機関に連絡し、孤立死の防止などにつなげていく。今回は新たに同町山木屋地区も訪問先に加わり、町内全域で訪問販売を行う。

協定締結式が町役場で行われ、大江孝治副町長とい

ちいの伊藤信弘社長が協定書を交わした。

大江副町長は「(協定締結により)町民の安全・安心な暮らしの確保に期待したい」、伊藤社長は「とくし丸のサービスを通じて地域に貢献していきたい」と述べた。